



Marutomi World



- Home
- 会社案内
- 会社概要
- ご案内
- 製品情報
- 新着情報
- リンク
- E-Mail

マルトミです

日ごろのご愛顧に心より御礼申し上げます。

2,3月号 (隔月刊)

お知らせ

☆ 春に向けてショールームの展示内容を一新しました。話題のガス耕うん機 ホンダのピアンタ、作業機なしで簡単にうね立てができるヤママーのNew ボチなど最新のミニ耕うん機や、草刈機・芝刈機を中心に展示し、あわせてお得な時期前セールを実施中ですのでぜひおかけ下さい。

☆ 3月13日(土)・14日(日)の両日、マルトミ春のスペシャルデーを開催致します。

春の農業機械を中心に、最新のミニ耕うん機や、芝刈機、発電機、電動カーなど家庭用商品も豊富に展示実演致します。日曜日には恒例の青空市や鍬の修理コーナーも開設致しますので、どうかお誘いあわせのうえお出かけ下さい。



マルトミカレンダー (2月~4月) 赤色は休業日

2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
28																				

※ 13・14 春のスペシャルデー

新潟県認定農業機械整備工場(大)・ヤンマー農業機械整備士工場・ホンダベスト特約店



株式会社 マルトミ

本社: 上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: info@maru-takada.com

ホームページ <http://www.maru-takada.com>



修理でお困りの機械はありませんか？

点検・修理、なんでもおまかせ下さい。

当社では、農業機械、除雪機、消防防災機器、その他汎用商品の販売とメンテナンス業務を行っています。主な取引メーカーは農機・汎用機械がヤンマー・ホンダ・共立・ゼノア・大島、消防防災関係ではモリタ・アシモリ・シバウラで、その他にも数多くのメーカーの製品を扱っています。

メンテナンスについては、県認定農業機械整備工場(大)・ヤンマー農業機械整備士工場・ホンダ汎用機ベスト特約店として、点検・整備・緊急の出張修理等、全てにわたり迅速、確実、低料金にて対応させていただきます。農業機械、除雪機はもちろん、それ以外の機械でもメーカーを問わず修理できますので、ぜひご利用ください。(但し自動車・バイク・建機等は除きます。)

故障したけれどどこに修理を頼んだらよいかわからずお困りの機械などありましたら、まずはお気軽にご相談下さい。修理の御見積りは無料ですのでどうかよろしくお願い致します。

部品もおまかせ下さい。

特に上記の主要取扱メーカーの部品については、お客様にご不便をおかけすることのないよう供給体制の充実に努めています。在庫していないものでも通常1~2日でお取り寄せできますので、ぜひご注文をお願い致します。

ご家族の安全を守る消火器と火災警報器

消火器と火災警報器。どちらも手軽に備えられてイザというときには人命を守ってくれるすぐれた商品です。火災警報器については昨年からは家庭での設置も義務づけられましたが、義務のあるなしに関わらず、ご家族の安全を守るための必需品としておすすめ致します。当社では、設置場所等のアドバイスもさせていただきますので、お気軽にご相談下さい。

モリタ粉末消火器

ヤマト火災警報器

6型 5,500円
10型 8,000円



煙感知式 4,500円 熱感知式 4,500円

※消火器廃棄料金 1,500円(新品お買い上げの場合は500円)

※ 電池寿命10年。

<廃消火器リサイクルシステムについて>

2010年1月1日より廃消火器リサイクルシステムの運用が始まり、今後はお持ちの消火器を廃棄する場合はリサイクルシール(500円)が必要となります。したがって当社でも、大変申し訳ありませんが、お客様から廃棄のみを

お引受けする場合はこれまでの料金1000円の他にシール代として500円を頂戴させていただくこととなります。

1月は除雪機をたくさん修理させていただきました。

ご利用誠に有難うございました。

今シーズンは12月から雪が積もり始め、1月は平野部でも数年ぶりの大雪となりました。2月に入ってからもまとまった雪が降り、皆様にはお仕事に除雪に大変な毎日をご過ごされたことと存じます。本当にお疲れ様でした。

当社もこの間除雪機の修理対応に追われ、修理させていただいた台数はピークの1月だけで200台を越えました。一時は電話が殺到し、道路事情も最悪の中で、修理にお伺いするのにはしばらくお待たせする場面も出てしまいました。ご不便をおかけした皆様に心よりお詫び申し上げます。

この様子だと、今シーズンはまだ雪が降るかもしれません。除雪作業をされる時はくれぐれもお気をつけて安全に作業されますようお願い致します。



2009年もホンダ汎用製品販売で最優秀賞を受賞致しました。

1月に東京で行われたホンダ汎用製品優秀特約店大会において、当社は2009年度も最優秀賞を受賞することができました。これはホンダの汎用製品(ホンダの四輪・二輪を除いたほとんどの製品がここに含まれます)の年間取引額により決定されるもので、ホンダの汎用部門の中で最高の賞です。

ここにご報告させていただくとともに、これも偏に皆様のご支援の賜物と心より感謝し御礼申し上げます。



中川さんがどぶろく大賞受賞！！



元当社社員で今はどぶろく造りでも有名な牧区の中川卓夫さん製造の「どぶろく卓」が、1月30日に東京農業大グリーンアカデミーホールで開かれた第1回「TOKYOどぶろくフェスタ2010」で最高賞の「どぶろく大賞」に輝きました。全国の生産者から出品された自慢のどぶろく75点の中から、一般の愛好家を含め135人もの審査を経てのこの受賞は、まさに本物の証明といえるでしょう。

地元でもファンの方が多いと思いますが、どぶろく好きでもこれはまだ飲んだことがないという方がおられましたらこの機会にぜひお試し下さい。(お問合せはTEL 025-533-5643まで)

昆虫の展示が変わりました。

ここしばらく、ショールームに巨大昆虫と世界のフンチュウの標本を展示して皆様にご覧いただいていたが、春も近づいてきたので、今回華やかな蝶の標本に入れ替えました。わずか2箱の展示ですが、他ではまず見られないびっくりされるようなものもありますので、こちらにお出かけの折にはぜひお寄りいただき、お茶でも飲みながらゆっくりご覧ください。

また、こうした蝶や昆虫の額等をご自宅や会社でも飾りたいと思われる方がおられましたら、製作も致しますのでどうかご相談下さい。



☆ここ数回「お客様訪問」のコーナーをお休みしましたが、次回より再開致します。今後はお客様のご紹介だけでなく、PRの場にもしたいと思いますので、何かご希望がありましたらお知らせ下さい。

上越の面白い生き物 61.

エゾユズリハとユズリハ

人との長いかかわり

冬の雑木林、葉をすっかり落とした木々の隙間に、点々と緑の色が見られます。その中でも幅広のつややかな葉に赤い葉柄がひときわ目立つ低い木がエゾユズリハ、おもに表日本に見られるユズリハの変種とされる植物です。本家のユズリハは高さ10mを越える大木になりますが、エゾユズリハのほうはせいぜい1.8mほどでつましい感じがします。ですが、その幹は粘り強く、多雪地帯に分布するユキツバキなどと同様に雪の重みに耐えて、しっかりと生きています。



ユズリハはご存知の通り、ダイダイ、ウラジロとともにお正月飾りの主役のひとつです。縁起物といってしまうとそれまでですが、常磐の木を若さや再生の象徴ととらえることは、私たち日本人に限らず北国に住むひとの共通の思いであるようです。季節が来ると古い葉の上にな新葉が立ち上がって、その後古い葉は落ちますが、一般の常緑樹の葉は一年で落ちるのに、ユズリハの場合2年以上も落葉しません。このため新旧二種類の葉がいつ見ても一緒にあることが人々の目を引き、これが古いものが新しいものに代を譲る子孫繁栄の

証とされたようです。ちなみに、中国でも「交讓木」の名で呼ばれているようで、このあたり、日本と同様の発想といえるでしょう。

不思議なことにユズリハと人との縁は、時代をさかのぼるとより濃くなるようです。万葉集には古い名ユズルハ（弓弦葉）として和歌に詠まれ、次の歌が知られています。

いにしへに恋ふる鳥かもゆづる葉の
御井の上より鳴きわたり行く　　卷第二　弓削皇子

また一種神聖な植物とされていたためでしょうか、儀式のときの神饌や供物の敷き物、容器としてしばしば使用された記録が残っています。このコーナーに何度か登場した「枕草子」にも「ユズリハの葉はふさふさとして艶めき、茎が赤く輝くように見えるのは風情がある。」とユズリハのことをもち上げ、一方で「普段忘れられているのが、大晦日の魂祭りのときだけ使われるのは気の毒な感じがする。」とも書いてあります。

さらに時代はさかのぼって縄文時代、各地から出土する木製遺物の中に、ユズリハの材で作った当時の生活必需品「石斧」の柄が多く見出されています。これは幹から出る枝の角度が、それを使うのに最適のものだったためと報告されていて、意外な使いみちにビックリします。

このようにユズリハというたった一つの植物をとっても、それと私たちの関わりが、何千年にも渡って続いていることについての驚きとともに、人間と自然との関係の途方も無い深さを思わずにはいられません。

(ハ)